

下河辺淳アーカイヴス

「下河辺淳アーカイヴス」は下河辺淳氏の業績を顕彰し、その著作物ならびに資料、関連情報等について収集・保存・管理を行うとともに、その資料情報を公開するものです。総合研究開発機構（NIRA）の特殊コレクションを引き継ぎ、2008（平成20）年、財団法人日本開発構想研究所（現・一般財団法人日本開発構想研究所）において開設しました。また、下河辺淳氏の主要な業績である戦後の国土計画に関連する資料についても整理を進め、2013（平成25）年に「戦後国土計画関連資料アーカイヴス」を開設し、併せてその資料情報を公開しています。

1. 著作物・関連資料の展示

著作物、資料、関連情報等を収集・保存・管理するとともに、広く公開しております。

公開時間：平日（月曜日～金曜日）10:00～17:00

※書誌をご覧になりたい方は、事前に電話（03-3504-1760）でご連絡下さい。有料になりますが、出来るだけコピーの便宜はお計りいたします（コピー不可の書誌があります）。

2. ホームページ上での資料情報の公開

<下河辺淳アーカイヴスアドレス(URL)>

<http://www.ued.or.jp/shimokobe/>

<戦後国土計画関連資料アーカイヴスアドレス(URL)>

<http://www.ued.or.jp/sengo/index.php>

3. 下河辺淳アーカイヴス・レポートの発行

2009（平成21）年春から本レポートを発行しております。（Vol.9 から「アーカイヴス・レポート」に名称変更）

Vol.19	2023・06	「文化首都」再考	石毛直道氏、端信行氏、中牧弘允氏の鼎談、幾度明氏、佐藤友美子氏寄稿	A4版72頁
Vol.18	2022・06	地域から考える国づくり	青山公三氏、江上能美氏、嶋津隆文氏、檜楨貢氏、中谷健太郎氏 他	A4版66頁
Vol.17	2021・06	相生相剋一人、自然そして国土	小野寺浩氏、渡辺綱男氏、亀澤玲治氏、鳥居敏男氏、中村桂子氏寄稿	A4版66頁
Vol.16	2020・06	365日の川を想う—流域圏構想	竹村公太郎氏、岸由二氏寄稿	A4版56頁
Vol.15	2019・06	下河辺淳：国際交流の足跡		A4版62頁
Vol.14	2018・06	首都機能移転と「下河辺メモ」		A4版56頁
Vol.13	2017・06	追憶—異彩のプランナー下河辺淳氏を偲ぶ—		A4版52頁
Vol.12	2016・06	下河辺淳の地方へのまなざし	榛村純一氏、辻一幸氏、戸沼幸市	A4版47頁
Vol.11	2015・06	震災復興～阪神・淡路大震災 20年の教訓～	五百頭真氏、御厨貴氏	A4版40頁
Vol.10	2014・06	下河辺淳所蔵資料にみる「沖縄」	御厨貴氏、江上能義氏 他	A4版41頁
Vol.9	2013・06	戦後国土計画関連資料アーカイヴスの開設		A4版41頁
Vol.8	2011・12	「頭脳なき国家」を超えて	小川和久氏との対談	A4版29頁
Vol.7	2011・06	38億年の生命誌	中村桂子氏との対談	A4版25頁
Vol.6	2010・12	日本経済	香西泰氏・小島明氏との鼎談	A4版27頁
Vol.5	2010・06	日本列島の未来	御厨貴氏との対談	A4版35頁
Vol.4	2010・03	水と人のかかわり	青山俊樹・定道成美氏との鼎談	A4版27頁
Vol.3	2009・11	クルマ社会の未来	志田慎太郎氏との対談	A4版21頁
Vol.2	2009・07	日本の食と農を考える	石毛直道氏との対談	A4版21頁
Vol.1	2009・03	21世紀の日本とアメリカ	山本正氏との対談	A4版21頁

下河辺淳 —その歴史、その仕事—



1923（大正12）年千葉県市川市に生まれる。東京大学在学中に終戦となり、戦災を受けた東京の都市社会調査を行う。1947（昭和22）年同大学第一工学部建築学科卒業。同年戦災復興院技術研究所に勤務し、住宅問題、都市計画の調査・研究を手がける。

1952（昭和27）年より経済審議庁に出向し経済計画の策定に参画。1957（昭和32）年からは建設省で、特定地域の総合開発、特に河川総合開発計画に着手。東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海、有明海等の内海の総合調査に取り組んだ。

1962（昭和37）年に工学博士。経済企画庁総合開発局へ。同年策定の全国総合開発計画（一全総）から1998（平成10）年の第5次全国総合開発計画（五全総）まで、一貫して国土政策・国土行政に深くかかわる。1977（昭和52）年国土事務次官、1979（昭和54）年退官。

1979（昭和54）年、認可法人の政策研究機関である総合研究開発機構（NIRA）の第2代理事長に就任。12年間の在職中に、世界のシンクタンクとの研究交流の輪を広げ、また国内シンクタンクの協力を得て、約450余の研究プロジェクトを手がけた。総合的なプロジェクトとして取りまとめたものに『事典 1990年代日本の課題』『事典アジア太平洋—新しい地域像と日本の役割』がある。また大都市問題（東京論、土地・住宅問題、首都機能、世界都市）も力を注いだ研究のひとつである。1991（平成3）年退任、翌年まで顧問を務める。



1992（平成4）年、株式会社東京海上研究所理事長に着任。企業の未来についてさまざまな視点から研究を進め、深い関心を寄せたテーマ「ボランティア経済」について、三部作（『ボランティア経済の誕生』『ボランティア経済学への招待』『ボランティア経済と企業—日本企業の再生はなるか？』）としてとりまとめた。2001（平成13）年より研究顧問、サロン会長を務め、2003（平成15）年6月退任。

1994（平成6）年には、これまでの国土政策を集大成し、国土計画の歴史から21世紀の国土に至る長期的視点を盛り込んだ『戦後国土計画への証言』を出版。また、1995（平成7年）から1年間にわたって、阪神・淡路復興委員会委員長を務め、同地域の復興施策をまとめ上げた。このほか、日中経済知識交流会顧問、日英2000年委員会委員、日米欧委員会日本委員会委員、社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）裁定委員会委員など、各種団体の要職を務める。



2003（平成15）年7月、下河辺研究室会長、有限会社青い海会長に就任。

2014（平成26）年6月、下河辺淳氏の個人事務所「下河辺研究室」「有限会社青い海」を閉室。

2016（平成28）年8月13日逝去（享年92歳）。

* 「下河辺淳アーカイヴス」では、下河辺氏に関する関連資料や情報等について、随時収集を行っております。本件についての情報提供、資料のご寄贈等ございましたら、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

一般財団法人日本開発構想研究所 「下河辺淳アーカイヴス」 TEL：03-3504-1760 FAX：03-3504-0752
E-Mail:shimokobe-arck@ued.or.jp

復刊UEDレポート バックナンバー

(敬称略)

2022・06	研究所が歩んで来た半世紀をふりかえる ―財団法人日本開発構想研究所 50周年に寄せて―	A 4 版 244 頁	研究所内外の約 100 名の執筆者による 50 周年の祝辞と半世紀の研究所の活動に寄せて思うことを語る
2021・06	ポストコロナの持続可能な都市と国土 ―SDGs と NUA を巡って―	A 4 版 104 頁	巻頭言・7 論文収録 (岡部明子、志摩憲寿、外岡豊、梅田勝也、小畑晴治、大木健一、阿部和彦)
2020・06	コロナ・パンデミックに対応できる国づくり、まちづくり	A 4 版 72 頁	巻頭言・7 論文収録 (大西隆、石川幹子、川上征雄、大木健一、小畑晴治、梅田勝也、阿部和彦)
2019・06	グローバルとローカルの交叉する世界の国土・地域計画	A 4 版 112 頁	巻頭言・13 論文収録 (麦島健史、野田順康、城所哲夫、瀬田史彦、片山健介、岡部明子、志摩憲寿他)
2018・06	大学改革と地方創生 ―地方大学振興のあり方―	A 4 版 102 頁	1 座談会 7 論文収録 (天野郁夫×梶田叡一×合田隆史×荒井克弘×鎌田積×戸沼幸市 6 氏の座談会、鳥飼玖美子氏、金城正英氏他)
2017・06	下河辺淳とその時代を語る～下河辺淳研究の勧め～	A 4 版 100 頁	1 鼎談 1 対談 6 論文収録 [大西隆・栢原英郎・養原敬氏鼎談、今野修平氏、川上征雄氏、大内浩氏、後藤春彦・鈴木輝隆氏対談他]
2016・06	地方再生と土地利用計画 ―地方再生のための“土地利用計画法”の提言―	A 4 版 102 頁	2 会議録、6 論文収録 (土地利用計画制度研究会梅田勝也、水口俊典、土屋俊幸、養原敬、安曇野市・篠山市・桜川市の土地利用計画事例)
2015・06	戦後 70 年の国土・地域計画の変遷と今後の課題	A 4 版 86 頁	1 鼎談 7 論文収録 [今野修平・薦田隆成・川上征雄鼎談、北本政行、梅田勝也、浜利彦、阿部和彦、小畑晴治、橋本武]
2014・06	土地利用計画制度の再構築に向けて―人口減少社会に対応した持続可能な土地利用を考える―	A 4 版 72 頁	巻頭言・7 論文収録 (土地利用計画制度研究会、大村謙二郎、交告尚史、高鍋剛、梅田勝也、阿部和彦、西澤明・明石達生・大橋征幹)
2013・06	大学の国際化とグローバル人材の育成	A 4 版 54 頁	巻頭言・6 論文収録 (戸沼幸市、潮木守一、吉崎誠、森田典正、南一誠、藤井敏信、角方正幸)
2012・06	大震災後の国づくり、地域づくり	A 4 版 78 頁	巻頭言・7 論文収録 (戸沼幸市、国土交通省国土政策局、大和田哲生、橋本拓哉、中山高樹、阿部和彦、小畑晴治、今野修平)
2011・06	みちを切り拓くコミュニティの力―超高齢化・人口減少の中で、未曾有の大震災と遭遇―	A 4 版 68 頁	巻頭言・7 論文収録 (戸沼幸市、広井良典、森反章、檜谷恵美子、浜利彦、長島有公子、村井忠政、巽和夫)
2010・07	地域経営	A 4 版 94 頁	巻頭言・8 論文収録 (戸沼幸市、平松守彦、望月照彦、西尾正範、鈴木豊、三輪真之、大和田哲生、橋本拓哉、西澤明)
2009・11	大都市遠郊外住宅地のエリアマネジメント	A 4 版 94 頁	巻頭言・1 会議録 7 論文収録 (戸沼幸市、小林重敬、中城康彦、西澤明、梅田勝也、佐竹五六)
2009・03	ネットワーク社会の将来	A 4 版 96 頁	巻頭言・1 対談 8 論文収録 (石井威望×戸沼幸市、斉藤諦淳、西澤明、澤登信子、藤井敏信)
2008・07	グローバル時代の地域戦略	A 4 版 88 頁	巻頭言・1 対談 8 論文収録 (下河辺淳×戸沼幸市、大村虔一、石井喜三郎、京極高宣、今野修平)
2008・01	諸外国の国土政策・都市政策	A 4 版 86 頁	巻頭言・9 論文収録 (城所哲夫、片山健介、小畑晴治、橋本拓哉、村上顕人、大木健一他)
2007・07	大学改革と都市・地域の再構築	A 4 版 88 頁	巻頭言・10 論文収録 (天野郁夫、福井有、鈴木正、牧野暢男、鎌田積、加藤平和他)
2007・01	人口減少社会の研究―人口減少社会の将来像、国、地域のかたち	A 4 版 74 頁	巻頭言・10 論文収録 (正岡寛司、京極高宣、坂田期雄、天野郁夫、今野修平、篠崎敏明、)

※2008・01号「諸外国の国土政策・都市政策」、2011・06号「みちを切り拓くコミュニティの力」を除き、若干の余部がございます。ご希望の方は、(一財)日本開発構想研究所総務室までご連絡下さい。

一般財団法人日本開発構想研究所

当研究所は、昭和47年7月からの歴史を踏まえ、平成24年7月に、財団法人日本開発構想研究所(特例民法法人) から、国の「公益法人制度改革」に伴い「一般財団法人日本開発構想研究所」に名称を変更いたしました。

設立年月日	昭和47(1972)年7月5日
移行登記年月日	平成24(2012)年7月2日
基本財産	100,000千円

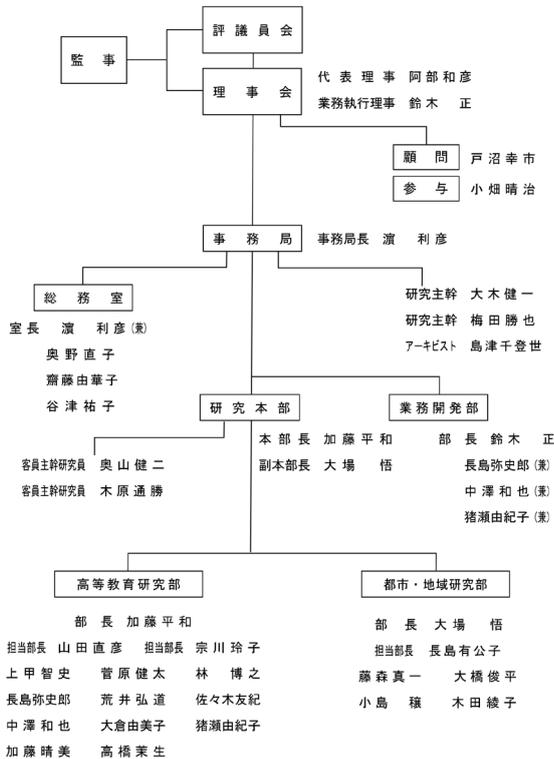
基本理念

一般財団法人日本開発構想研究所は、くにつくりから、まちづくり、ひとつづくりまで、活力に満ちた明日の社会の形成に役立つ学際的な研究調査を、人と人とのふれ合いを大切に、地道に進めるために設立された研究機関です。

そのため、多彩な研究者からなる内部スタッフを擁し、必要に応じて外部専門家の協力を得つつ総合的かつ実践的な研究を行うシンクタンクとしての歩みを進めています。

組織及び調査研究スタッフ

(令和5年6月)



評議員及び役員等一覧

(令和5年6月)

【評議員】

天野 郁夫	東京大学名誉教授
荒井 克弘	独立行政法人大学入試センター 客員教授
岸井 隆幸	一般財団法人計量計画研究所 代表理事
今野 修平	元大阪産業大学大学院教授
坂井 秀司	前一般財団法人自治研修協会 理事長
廣 兼周一	(株)Kマッチング代表取締役 元UR 都市機構理事長代理
松本 久長	(株)E&Lコンサルティング代表 取締役、元日鉄興和常務執行役員
定岡 祐二	株式会社みずほ銀行 産業調査部長
奈良 敦	日鉄興和不動産株式会社 常務執行役員

【役員】

代表理事	阿部和彦
業務執行理事	鈴木正
理事	田畑貞壽 千葉大学名誉教授 小林重敬 横浜国立大学名誉教授 鳥飼玖美子 立教大学名誉教授 加藤平和 大場 悟
監事	相田康幸 元日本開発銀行企画部長 元産業基盤整備基金監事 山下 恒 日鉄興和不動産株式会社 開発企画本部開発企画部長

【顧問等】

顧問	戸沼幸市 早稲田大学名誉教授
----	----------------